

# 京都SDGsパートナー登録証



株式会社木下カンセーは、  
SDGs、CO<sub>2</sub>ゼロに  
取り組むことを宣言します。

## ●2030年のSDGs達成に向けた目指す姿と運営・事業方針●

株式会社木下カンセーは、廃棄物の適正処理とリサイクルの推進、二酸化炭素削減活動、子供たちへの環境教育、健康経営などに取り組み、廃棄物処理業を通じて地域の環境整備・美化に資する事により、SDGsの達成に貢献してまいります。

## ●SDGsに関する重点的な取組●

食品廃棄物の堆肥化、廃プラや木くずの燃料化や原料化、空き缶・ビン・ペットボトルの再資源化など、最も環境負荷の少ない処理方法を常に検討・模索し、より良いリサイクルを目指しています。

CO<sub>2</sub>削減のため、当社で集めた廃天ぷら油をバイオディーゼル燃料に精製して軽油の代替燃料として利用しているほか、太陽光発電で自社処理工場の電力の一部を供給し、エネルギーの地産地消を実施しています。また、滋賀県造林公社とパートナー協定を締結し、毎年50トンのCO<sub>2</sub>排出権を購入し、オフセットを実施しています。

子供たちにリサイクルの重要性や仕組みを理解してもらう為、処理施設の見学会、環境教育の出前講座、社会科学習の副教材への協賛などを実施しています。

## ●文化や地域活動に関する重点的な取組●

地域的美観保護に活用頂くため、IoT技術を搭載した圧縮機能付きゴミ箱「スマートごみ箱」を2022年12月から毎年数台ずつ京都市に寄贈し、観光客の多い場所や各文化施設へ設置することになりました。  
また、びわ湖マラソン2023への協賛など、地域のスポーツ活動も応援しています。

2022年12月26日  
(登録番号:00148)

株式会社木下カンセー  
代表取締役 木下昌秀



京都市長  
門川 大作

